

演技集団 朗 「約束～大切なもの～」



信じることでできますか?優しく心温まるおはなし。

今年の夏休みは、田舎のおばあちゃん家へ行こうと約束した
けんた(父)とけんじ(息子)親子。

だが、けんたの仕事の都合で計画は中止に。

「僕一人でも行くんだ。」

そう決めたけんじは家を飛び出してしまう。

田舎に着いたけんじは、お寺の境内で
座敷わらしのまどかに出会う。

座敷わらしのまどかがお寺にいる理由、

それは25年前に交わした「友達」との「約束」だった...

物語は「約束」を通じて信じあう絆、親子、友情、

大切な守るべきことに触れて進んでいきます。(上演時間:約80分)

【演出家からのメッセージ】

福沢良一

この作品は、古来日本人の持っていた絆、思いやり、優しい心、全てが反映されており、私たち大人が現代に忘れてきた心がある作品です。是非この作品を通じて、次の世代の子供たちに大切な思いを伝えていけるよう、心より願います。

【出演】 演技集団 朗

「観た人の心に響くあたたかい作品を」とのコンセプトのもと2001年に誕生。声優としてテレビでも活躍するベテランミュージカル俳優・福沢良一を迎え、児童演劇フェスティバル参加、子ども演劇祭参加など全国各地で公演を重ね、いずれも好評を博す。団員は舞台だけでなく、それぞれテレビドラマやCM出演、ナレーターとしても活躍する若手実力派。劇団代表・新井浩介は日本芸術文化振興会プログラムオフィサー(演劇分野)を務める。日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟。

編成:11~13名(出演者8名、スタッフ3~5名)

【感想文・アンケートから】

---生徒たちも真剣に観劇し、涙をこぼしている生徒もたくさんいました。一生懸命、真剣な演技が、私たちの心をとらえ、心打ちました。
(東京都 小学校校長)

---この劇には家族の絆や友情が描かれていて、とても感動しました。この劇を観て、これからは両親を大切に今より少しでもお父さん、お母さんと仲良くしようと思いました。
(新潟県 小学6年生)

---この劇は、沢山のことを教えてくれました。僕はいちばん身近で大切なものを忘れていていると思います。それは「感謝」の気持ちです。親や兄弟、友達や先生が、いつもそばにいたことが当たり前という人が多いのではないのでしょうか。僕は今回の劇を観て、いつもそばにいてくれるのは、当たり前ではないということを考えさせられました。今もそばに家族や友達に感謝をし、歩いていこうと思います。また、今日の感動をくれた一秒一秒をキセキだと信じながら生きていきたいです。そうすれば、もっと大きな何かをつかめる気がするので...。沢山のことを教えてくれたこの劇に、心から感謝します。
(兵庫県 中学3年生)

